

2025年信徒聖書講座
ディボーション(再)入門
～みことばを口ずさむ人になろう～

第4回 10月12日(日)

講座日程と概要

9月21日(日) 第1回 なぜディボーション? (聖書読みスタート)

9月28日(日) 第2回 なぜみことば? (分ち合いスタート)

10月5日(日) 第3回 みことばを口ずさむ

10月12日(日)第4回 なぜ祈る?

10月19日(日)お休み

10月26日(日)第5回 イエス・キリストの模範

11月2日(日) 第6回 ディボーションと分ち合い

11月9日(日) 第7回 静まりと振り返り

11月16日(日)第8回 ディボーション・グループの始め方・持ち方

9月21日から、ルカの福音書を少しづつ読んでいます。

祈りとは、、、

►エレミヤ書33章1～3節

2 「地を造った主、それを形造って堅く立てた主、その名が主である方が言われる。

3 『わたしを呼べ。そうすれば、わたしはあなたに答え、あなたが知らない理解を超えた大いなることを、あなたに告げよう。』』

●祈りとは、神さまとの対話

- 「呼びかけ」からはじまる。
- 「聞くこと」と「語ること」を含む

「人格的な交わりは相手の話を正しく聴き、それに誠実に応えるときに育ちます。」

(「交わりに生きる信仰生活」唄野隆、いのちのことば社、51)

なぜ祈るのか？

1. 私たちは、神のかたちに造られているから。

- ▶創世記1:27 「神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。」
- ▶マタイの福音書4:4 「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる」

●靈的な存在

●人格的な存在

2. 私たちは、神の子どもとされているから。

- ▶マタイ6:9 「ですから、あなたがたはこう祈りなさい。『天にいます私たちの父よ。』
- ▶マタイ6:25～26、31～32
- ▶ローマ8:15 「あなたがたは、人を再び恐怖に陥れる、奴隸の靈を受けたのではなく、子とする御靈を受けたのです。この御靈によって、私たちは『アバ、父』と呼びます。」

なぜ祈るのか？

3. 私たちは、祈るように神に招かれているから。

- ▶エレミヤ29:11 「あなたがたがわたしに呼びかけ、来て、わたしに祈るなら、わたしはあなたがたに耳を傾ける。」
- ▶詩篇50:15 「苦難の日に、わたしに呼び求めよ。わたしはあなたを助け出し、あなたはわたしをあがめる。」

4. 私たちの祈りを、神は聞いてくださるから。

- ▶詩篇91:15 「彼がわたしを呼び求めれば、わたしは彼に答える。」
- ▶マタイ7:7 「求めなさい。そうすれば与えられます。」 11 「天におられるあなたがたの父は、ご自分に求める者たちに、良いものを与えてくださらないでしょうか。」

何を祈るのか？

- 祈りの内容は、ACTSの頭文字からの説明 (ACTS とは「使徒の働き」の英語名)

- ▶ A → Adoration 【贊美】・・・神の御名を、偉大さを
1歴代29:10～13、詩篇30:1、マタイ6:9
- ▶ C → Confession 【告白】・・・罪、信仰、悩みを
詩篇32:1～5、マタイ6:12、詩篇23:1、27:1、62:8
- ▶ T → Thanksgiving 【感謝】・・・恵みを、救いを、すべてのことを
詩篇9:1、1テサロニケ5:18、詩篇136:1、103:2～5、117:21
- ▶ S → Supplication 【願い】・・・自分のこと、人のこと(とりなし)
ピリピ4:6～7、エペソ5:18、ルカ22:42「みこころ」

「今日のみことば」と「祈り」の関係

●ディボーションの中での祈り

1. その日のみことばに応答する祈りをささげる

①まず聖書を読む→今日のみことばを頂く。(第1回)

②今日のみことばを思い巡らす。

鍵となることばについて、意味を考えてみる。

自分にとって、どんなメッセージ？

今日一日をどう生きるべき？どのような行動をとるべき？

どのような心の在り方で歩むべき？罪・悔い改めるべき？

③今日のみことばに応答する祈りをささげる。

教えられたことに感謝、みことばの通りに歩めるように。

祈りを、今日のみことばで導いてもらう。

「今日のみことば」と「祈り」の関係

●ディボーションの中での祈り(続き)

2. 続けて、そのほかの祈りをささげる。

①自分の一日のため

②家族のため

③教会のため(教会の祈祷のしおりなど)

④伝道・救靈のため

●一日の中での祈り

►ルカ18:1 「いつでも祈るべきで、失望してはいけない」

►1テサロニケ5:17 「絶えず祈りなさい」

「今日のみことば」と「祈り」の関係

●一日の中での祈り(続き)

* 短い祈り(短祷)、区切りの祈りを一日の中で何度も。

* その時に、「今日のみことば」を口ずさむ。

►エペソ5:17 「御靈の剣、すなわち神のことばを取りなさい。」

18 「あらゆる祈りと願いによって、どんなときにも御靈によって祈りなさい。」

●田辺の例① 10月6日(月) 今日のみことば...ルカ3:16「私よりも力のある方」

* **思い巡らし**：バプテスマのヨハネが、キリストのことをこう呼んでいます。それとは意味合いは少し違うかもしれません、私にとってキリストは、「私よりも(はるかに)力のある方」と呼ぶことができ、信頼することができることを感謝します。「私よりも力のある方」と今日一日口ずさみ、過ごしたいです。(自分のノートから。教会のディボーションの会の分ち合い用コメント)

* この日は、午後に世界宣教局関連の仕事をしていて、その間に何度も「私よりも力ある方」と思い出し、その度に目の前の仕事を主にゆだねて祈ることができた。

「今日のみことば」と「祈り」の関係

- 田辺の例② 10月11日(土) 今日のみことば・・・ルカ4:43 「そのために遣わされたのですから」

►**思い巡らし**：群衆の要望に応える誘惑もあったと思いますが、そのような居心地の良い所をあえて離れて、与えられた使命のために出て行ったキリストの姿に教えられます。「そのために」ということばが特に心に語りかけます。自分も「福音」のために召され、神様に派遣されました。余計なことのために、ついつい時間を費やしてしまう弱い者です。「そのために」という思いを、キリストにならって与えて頂き、限られた時間の中、今日一日集中できるようにと祈ります。

►土曜日は備え日、説教などの準備中、何度も「そのために」と口ずさみ、準備に主の助けを与えてください、と祈った。集中力が途切れそうになった時にも、「そのために」と口ずさみ、祈って主の助けを仰いだ。人のために祈る時も、その人に与えられている神からの使命が果たされるようにと祈った。

最後に、 、 、

- 今週もディボーション(ルカの福音書)を続けましょう。
 - * 毎日、 今日のみことばを選びましょう。1節、 1フレーズ、 1単語。
 - * 今日のみことばを、 祈りの中で思い巡らしてみましょう。
 - * 今日のみことばに応答する祈りをささげましょう。
- 一日の中で、 何回でも短い祈りや区切りの祈りをささげましょう。
 - * 今日のみことばを口ずさむことと祈りをセットで。
 - * 「主よ」 から始める。
 - * 「今日のみことば、 何だっけ」 から始める。
- 一日の終わりに、 今日のみことばと祈りをささげましょう。